

よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会

Yokohama Disaster Prevention



表紙の写真: 泉区 近藤 美樹さん

目次 — index —

P 2 **New** 横浜消防の近代史

P 4 「減災新聞」の視点

P 5 防災セミナーの開催報告

P 6 消防査察の上手な受け方
消防局指導課

P 8 横浜消防トピック119
▶ 消防局が全面協力!
TBS金曜ドラマ
『4分間のマリーゴールド』が
10月スタート!
▶ 緊急通報システムの運用を
開始します

P 9 こんにちは

P 9 **New** いざという時の整体

P 10 各区火災予防協会紹介
▶ 金沢

P 11 防災功労者表彰

P 11 新約消防白書

連載 ●フォト収集 ●コラム 妄言多謝
P12~ ●横浜路地裏日記 ●ベストショット
〈編集後記〉

— autumn —

44号

1 4 7 10月

横浜消防の近代史

黒船来航と横浜村の消防

横浜開港資料館

調査研究員 吉田 律人



ペリー提督・将兵の横浜上陸図 ハイネ画 横浜開港資料館所蔵

1853年7月8日(嘉永6年6月3日)、マシュー・ペリー提督率いる4隻の黒船艦隊が浦賀沖に現れ、江戸幕府に国交を求めてきた。その後、ペリーはアメリカ大統領の親書を渡して去ったものの、翌年、再び来航、3月31日(嘉永7年3月3日)に久良岐郡横浜村字駒形の応接所(現在の横浜開港資料館所在地)において日米和親条約を締結した。続いて1858年7月29日(安政5年6月19日)、江戸幕府は小柴沖の軍艦「ポーハタン」上で日米修好通商条約を締結、さらにイギリス、フランス、オランダ、ロシアとも同様の条約を結び、日本の市場を広く欧米諸国に開放していった。こうした一連の流れのなか、横浜の開港が決定、およそ100戸の半農半漁の村落は国際的な都市へと急速に発展していった。この黒船来航は近代日本の幕開けを告げるだけでなく、横浜の消防にとっても大きな変革をもたらすことになった。

黒船来航から160年が経過した今日、横浜は人口370万人を超える巨大都市となっており、災害から市民を守る消防組織も横浜市消防局と18区の消防署、さらに20個の消防団と充実している。その歴史については、いくつかの優れた編纂物によって整理されているものの、明らかになっていない部分も数多くある。特に幕末から太平洋戦争までの歩みは、1923(大正12)年の関東大震災や1945(昭和20)年の横浜大空襲で多くの史料が失われたため、闇に埋もれているのが現状である。しかしながら、近年のデジタルアーカイブズの発達により、過去の新聞や雑誌へのアクセスが容易になったほか、地域に残された古文書にも消防に関する記録が含まれている。それらを体系的に整理しつつ、分析を加えることで、横浜消防の近代史を描いていくことも可能となろう。そこで本連載では、現在の横浜地域で発生した大規模災害

を踏まえながら、横浜消防の近代史をたどっていきたい。まずは時計の針を黒船が来航した江戸時代末期にあわせてみよう。

当時、幕府のお膝元である江戸市中には、鳶を主体とする町火消が各町単位で組織され、出火の際は纏や鳶口、梯子などを持って出動していた(鈴木淳『町火消たちの近代』吉川弘文館、1999年)。また、詳しい組織はわからないが、江戸につながる東海道筋の宿場町、神奈川宿や保土谷宿においても消防組織が存在した(井上攻『近世社会の成熟と宿場世界』岩田書院、2008年)。一方、人口の少ない村落では、消防は若者組(青年男子による伝統的な年齢集団)の仕事だったという(後藤一蔵『消防団の源流をたどる』近代消防社、2001年)。史料的な確証は得られないが、おそらく久良岐郡横浜村の消防も他の村々と同様に、若者組によって担われていたと推察できる。つまり、横浜の消防は地域住民の手に委ねられていたのである。

だが、黒船来航はそうした状況を変える契機となった。1854年2月、ペリー率いる黒船艦隊が再び来航すると、江戸幕府は諸藩に命じて沿岸の警備を固めていった。そのうちの一つが松代藩(真田家)で、ペリーと



横浜村の農家 ハイネ画
『ペリー艦隊日本遠征記』 横浜開港資料館所蔵

ともに来日した画家のヴィルヘルム・ハイネは、同藩の陣屋を「横浜の火消詰所と消火装置」と題して描いている。このハイネの絵には、龍吐水(日本製の手動ポンプ)や桶、梯子、提灯などが描かれており、松代藩は武家火消を待機させていた。この火消は黒船艦隊との戦火に備えていたと考えられ、都市的な消防組織だったと推察できる。一時的にせよ、対外的な危機を契機に、武家火消が横浜の地に入ってきたことは、その後の変革の端緒となっていくのである。



横浜の火消詰所と消火装置 ハイネ画 『ペリー艦隊日本遠征記』 横浜開港資料館所蔵

令和元年11月2日から令和2年1月26日まで、横浜開港資料館において企画展示「横浜の大火と消防の近代史」を開催します。
横浜の都市部を中心に、開港直後の町火消から戦後の自治体消防にいたる横浜消防のあゆみをたどります。

「減災新聞」の視点

神奈川新聞記者 渡辺 渉



横浜スタジアムの脇にある横浜公園の石碑。猛火の中、「緑陰池辺」に避難した大半の市民が「九死に一生を得た」と刻まれている。

関東大震災を語り継ぐ

「防災の日」(9月1日)に合わせた訓練や啓発の行事が今年も各地で行われ、多くの人々が備えの意識を新たにした。

言うまでもなく9月1日は、10万5千人余りの死者・行方不明者を出した関東大震災が起きた日である。この未曾有の災禍が、横浜にとってどれほど重い意味を持つか。教訓を見つめ直し、防災・減災への新たな一步を刻まなければならない。それこそが、過去の災害に学ぶということだろう。

小田原付近を震源とするマグニチュード(M)7.9の巨大地震が発生したのは、1923(大正12)年9月1日午前11時58分だった。震災の象徴である大火は、かまどや七輪などで炊事中に激しい揺れに襲われたことが端緒となり、つぶれた家々

から次々と出火、折からの強風で燃え広がったことが原因だ。火災による死者・行方不明者は約9万2千人と犠牲者全体の9割近くに上り、そのほとんどを当時の東京市と横浜市が占めた。

中でも、東京の火災による死者は約6万6千人と際立った。現在のJR両国駅付近にあった「陸軍被服廠跡」に避難した人々が、猛火に四方を取り囲まれて逃げ場を失ったことで人的被害が拡大した。避難者約4万人のうち、実に3万8千もの人々がこの一カ所だけで命を落としている(<https://www.kanaloco.jp/article/entry-119631.html>)。

一方、横浜での火災の死者は約2万5千人を数えた。出火地点は289カ所に及び、火災旋風も続発。市中心部は焦土と化した。東京の被服廠跡と同じ

ような状況になりながらも、大半の人々が命をつないだ場所が存在する。現在の JR 関内駅前に位置する「横浜公園」である。逃げ込んだのは4万人とも6万人とも言われるが、犠牲になったのは50人ほどと報告されている。敷地の広さは約6万5千平方メートルで、被服廠跡とほぼ同じだった。

共通点の多いこの二カ所で被害の大小が異なった要因として、避難者の持ち物の違いが指摘されている。被服廠跡に逃げ込んだ人たちが、火が燃え移りやすい家財道具を荷車に満載していたのに対し、横浜公園周辺の人々は身一つで避難したとされる。

東京と比べて震源に近く地盤も悪い横浜は、震度7相当の激震に見舞われ、建物の被害状況がより深刻だった。このため火の回りが早く、家財道具などを持ち出す余裕がなかった。その一方で東京は、延焼するまでに多少の時間があったため、避難する際に焼けては困る品々を運び出そうとしたと考えられる。被害状況の違いと、だからこそ異なった人々の行動の差によって、明暗が大きく分かれた形だ。

もし、この二カ所の被害状況が逆だったら、東京と横浜の犠牲者数もちょうど入れ替わる。つまり横浜は、まさに紙一重の差で最悪の被災地にならなかった、と受け止めておく必要がある。

被服廠跡は現在、公園として整備され、震災と戦

災の犠牲者が眠る慰霊堂と、展示施設の復興記念館が建つ。日常的に災禍の記憶を振り返ることのできる貴重な場だが、震災90年の2013年には、節目の日に合わせて「首都防災ウィーク」という祈りと啓発の行事が始まった。教訓の継承と、迫る首都直下地震への備えを探ろうという試みで、震災100年を見据えて続けられている。

これに対して、横浜を含め神奈川県内では、90年の節目にこそさまざまな催しが展開されたが、継続的な企画や発展的な取り組みは残念ながらほとんどない。

横浜公園には今も震災の石碑がひっそりと立つが、足を止める人はごくわずかだ。過去の災害に学ぶ機運をいま一度高めなければ、と思わずにいられない。



関東大震災で最悪の悲劇の現場となり、現在は「首都防災ウィーク」の会場としても使われている東京都慰霊堂

この「減災新聞の視点」を執筆されている渡辺氏に、当協会主催の防災セミナーで講演をいただきました。会場いっぱいのご参加で好評をいただきました。

2019年度 防災セミナー開催報告



会長のあいさつ



講演の様子



会場の様子

日時 2019年8月20日(火) 15:00~16:30

場所 神奈川中小企業センタービル

演題 「災害・減災取材の現場から」～「わがこと」と捉えるために

内容 ① 直下型地震の恐ろしさ ③ 過去の経験に学ぶ
② 津波から生き延びる ④ 「わがこと」と受け止める



講師：神奈川新聞報道部
渡辺 渉氏

消防査察の上手な受け方

「立入検査」って？

〈消防局指導課〉

- ① 事前準備編
- ② 立入検査対応編
- ③ 事後対応編

月
日
曜日
画
面

横浜複合ビルの立入検査を終えたA消防署X消防士は、
統括防火管理者のYさんに
『立入検査等結果通知書』を交付します。



X消防士

立入検査にご協力いただきありがとうございました。これから『立入検査等結果通知書』を交付します。火災の予防に関して改善が必要な事項ですので、一緒に内容をご確認いただきたいと思います。質問等があればその都度聞いていただいで構いません。



Yさん

わかりました。よろしくお願いします。

この通知書に記載されている指摘事項は、全て改善しなければならないのでしょうか？

X消防士：はい、全て改善をお願いします。

指摘事項については、『回答書』を消防に提出していただきます。

Yさん：『回答書』というものは具体的にどのようなものなのですか？

X消防士：『回答書』は、立入検査での指摘事項について、改善年月日や今後の改善計画を記載するものです。

Yさん：いつまでに提出すればよいのでしょうか？

X消防士：回答書の提出期限は、立入検査等結果通知書の交付日から**14日以内**です。

件 番	指 摘 事 項	改善 (計画) 年月日・改善内容
1	〇〇〇株式会社の在庫階に、遊樂の支障となる物置 (段ボール等) が 設置されないよう改善すること。(法第8条の2の4)	〇〇月〇〇日まで除去済み
2	消防用設備等の点検結果 (〇年〇月〇日実施) による次の不良は改善する こと。(法第17条) (1) 防火扉 (2) 換気灯	現在見積取得中で、 (1)〇〇月〇〇日実施予定 (2)〇〇月〇〇日実施予定
3	消火、避難及び避難の訓練を実施すること。 なお、消火及び避難の訓練は年2回以上実施するとともに、あらかじめ その旨を消防署に届報すること。(令第3条の2、規則第3条)	〇〇月と〇〇月に実施予定 日程は調整中
4	コフレ〇〇のフード等に付着した油垢等の清掃を行い、火災予防上支障 のないように維持管理すること。(令第4条の4)	〇〇月〇〇日清掃を実施



ここに「改修時期」や
「改修方法」など
具体的な内容を記載します。

Yさん：14日以内に全て改善しなければならないのですか？

X消防士：回答期限までに全ての指摘事項を改善するといった主旨のものではありません。もちろん、対応が可能な事項はすぐに改善していただきますが、日程調整や多額の費用負担が生じるもの等、早期対応が困難なものは、改善の計画を立て、回答書に記載した改善計画に沿って順次進めていただくようお願いします。

Yさん：わかりました。でも、どのように計画を立てたらいいのか、どこから手を付けたらいいのかよくわかりません。アドバイスをいただけませんか？

欄に書ききれない場合は、
別紙参照と明記し、
別紙を添付できます。



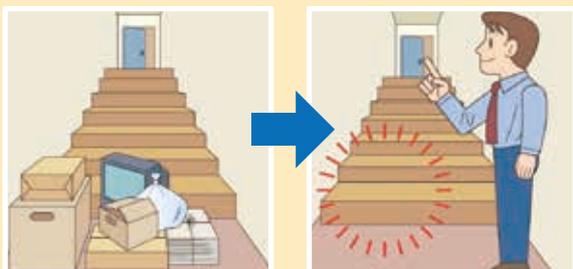
別紙



「改善後」の状況が
分かる写真も添付できます。



できるところから一つずつ確実に改善していきましょう。まずは、それほど時間をかけずに改善できそうなものから始めていただくのがよいと思います。例えば避難通路や避難口前に置かれた物件等の撤去は、お金も時間もかけずに対応ができると思いますし、早急に危険性を排除していただくためにも真っ先に改善していただきたい事項です。



すぐにできることから改善しましょう！



費用のかかるものは計画的に！



そうですね。まずはすぐにできることから始めていきたいと思います。テナントが関わるものについては、どのようにすればよいでしょうか？

X 消防士：例えば改修に際して費用が発生する場合などは、建物所有者とテナントとの間で協議が必要になる可能性があると思います。

Yさん：わかりました。必要に応じ協議して対応します。消防訓練など調整が必要になりそうなものについても早めに計画を立てていかないとうまく進みそうにありませんね。

X 消防士：そうですね。テナントや外部業者等との調整が必要なものは、早めに対応を始める必要があります。すぐに改善できるものを対応しつつ、並行してテナント等との調整を進め、計画通りに改善できるよう準備を始めていただければと思います。

Yさん：早急に調整を始めたいと思います。

テナントが単独で改善できるものについては、テナントに全て任せて良いのでしょうか？

X 消防士：統括防火管理者は防火管理業務実施のために必要な指示をする権限がありますので、Yさんからテナントへ指示をしていただき、適宜改善状況の把握に努めてください。

テナント専有部分についてはテナントにも責任がありますが、統括防火管理者として建物全体の防火管理について一定の責任を負いますので、各テナントの防火管理者と連携を取りながら改善してください。



わかりました。今回の立入検査で初めて知ったことが多く私自身もとても勉強になりました。これを機に各テナントにも火災予防に対する意識をしっかりとってもらえるよう、統括防火管理者として、日常の管理を徹底していききたいと思います。



訓練の周知も大切です！

42号から3回にわたり連載してきましたが、消防の立入検査についてイメージできたでしょうか？日常的に火災予防上の管理が行えているかどうかを確認するものなので、立入検査があるからといって身構える必要はありません。

しかし、ほんの些細なことが原因で出火し、被害を拡大させてしまう場合もありますので、立入検査の時だけ注意するのではなく、日頃から建物全体で協力し、維持管理をしっかり行っていただきたいと思います。





横浜消防トピック119



消防局が全面協力！TBSテレビ金曜ドラマ『4分間のマリーゴールド』が10月スタート！

■ 消防局企画課



花巻みこと（福士蒼汰）

10月11日（金）よる10時スタートの、TBS金曜ドラマ『4分間のマリーゴールド』に、消防局が全面協力し、救急指導、庁舎での撮影、衣裳提供（救急服等）などを行っています。

このドラマは、手を重ねた人の「死の運命」が視えてしまうという特殊な能力を持つ救急救命士（花巻みこと）と、命の期限が1年後に迫った義姉（花巻沙羅）との恋を描く切ないラブストーリーです。

主人公の救急救命士・花巻みこと役は福士蒼汰さん、義姉・沙羅役は菜々緒さんが演じます。みことは横浜市消防局の救



訓練の様子

急救命士で、手を重ねた人の「死の運命」が必ず現実になってしまうというやりきれない思いを抱えながらも、懸命に救急活動をする姿が描かれます。

8月14日（水）には、横浜市南区にある横浜市救急救命士養成所で、福士蒼汰さんをはじめ同僚役を演じるキャスト計5名が、当局救急課および教育課に所属する救急救命士のレクチャーのもと、救命処置の手順や、実際の台本の救急活動シーンを想定した訓練を行いました。キャストの皆さんは、動きを何度も反復し、時には動画を撮影し質問するなど、とても熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

本ドラマは、横浜市内でも撮影が行われています。金曜よる10時は『4分間のマリーゴールド』をぜひご覧ください。



来年4月からNet119緊急通報システムの運用を開始します

■ 消防局司令課

消防局司令課では、保土ヶ谷区川辺町にある消防司令センターにおいて、年間30万件近い横浜市内からの119番通報を受信し、市内各消防署所の消防隊や救急隊に対して出場指令や部隊管制を行うなど、消防業務の中核を担っています。

近年では通信技術の革新に伴い、通常の電話や携帯電話に加え、eメールやFAXなど、様々な方法で119番通報を受信しています。

このような状況のなか、来年4月からは、聴覚・言語機能等に障がいのある方を対象とした「Net119緊急通報システム」の運用を開始します。

このシステムの特徴は、GPS位置情報やチャット機能により、通報者の詳細な位置や症状などを消防司令センターに送信できることです。

ご利用には事前登録が必要となりますが、登録開始時期や詳細な利用方法などにつきましては、今後ホームページ等でお知らせしてまいります。



Net119緊急通報システムによる通報イメージ(スマートフォン)

体のメンテナンス



暑い暑い夏が終わりました。秋の訪れを何で感じるでしょうか。気温や日差し、木々の彩り、食べ物、衣服など、変化を感じるものが数えきれないほどあります。よく「〇〇の秋」なんてことも言いますが、私はやっぱり「食欲」ですかね。そして気になるのが健康診断の季節。いつも検査前日に禁酒して意気込みを見せているんですが、こんな小細工は通用しませんね。結果がすべてお見通しです。日ごろからしっかりと健康管理しなければ。一方で、年々体のあちらこちらに痛みが出て、体の内と外のメンテナンスが必要だと感じています。

今から10年ほど前のことですが、私は野球で右肩を痛めました。整形外科に通い、痛みが取れるまで5年かかりました。直後に今度は左肩、なんの前触れもなく激痛が走りました。いわゆる五十肩です。同じ整形外科に通いましたが、3年後に突然痛みがなくなりました。

痛みがなくなったものの、首から肩回りがカチカチに固まり、肩の可動範囲が狭くなっていて、常に重苦しく違和感が残りました。

ある日、当協会の有賀事務局長が〇脚の矯正で整体

に通っているということを知りました。施術を受けると〇脚が改善されるということです。そこで私の体も何とかしたいと思い、さっそく電話で予約しました。

そこは、2階建て共同住宅の1階にあり、玄関横に「坂の上の整体院」という表示がありました。恐る恐る中に入ってみると、不思議な力を持っていそうな仙人のような院長がいました。これが斉藤先生との出会いでした。

首から肩にかけての違和感や痛みのある個所を伝えると、さっそく頭の整体から始まり、首・肩を中心に全身のコリやリンパの状況を確認しながらほぐしに入りました。痛みとともに心地よさ。終わってみると頭はすっきり、肩が軽くなりました。しばらく続けてみようと思い、次の予約も取りました。

何回か通っているうちに、斉藤先生と地震や風水害で避難生活を送っている方々の体の不調などの話になり、「不自由な避難所生活では精神的な安定と体のメンテナンスが大切だ」と考えが一致しました。

そこで、災害時など「いざ」という時にも役立つのではないかと、斉藤先生にお願いして、体のメンテナンスについて数回に分けて寄稿してもらうこととなりました。



いざという時のための「整体」のすすめ

● 坂の上の整体院 斉藤 正人



この度、整体師の視点からお話しする機会をいただきましたので、これまでの経験をもとに皆様に整体についてお伝えしたいと思います。

最近の災害で報道される機会が増えているのが避難所生



活ではないでしょうか。

誰もが、地震や豪雨災害などで、いつ避難生活を強いられるか分からない状況にあります。

そこでまず大切なことが、日頃から身体の体調管理をしっかりと行うことです。いざという時に、自分なりの運動機能が万全に近

ければスムーズな避難ができるでしょう。普段から、運動やストレッチを行い、必要に応じて、身体に溜まった疲れや凝りを取ることをお勧めします。特に自分の身体の弱い部分を把握しておくことも大切です。

このコーナーでは、身体の機能を整え、頭や身体の活性化を目的とした自分で行う整体「ひとり整体」を今後、紹介してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

「火災予防協会」だより



金沢区は、海の公園、八景島、野島公園、金沢自然公園など、海・山の自然を生かした観光地や、アミューズメント空間が点在し、称名寺・金沢文庫に代表される鎌倉時代の歴史的、文化的資産や名所・旧跡が多数存在します。昭和63年には約660万平方メートルにも及ぶ金沢地先埋立事業の完成に伴い多数の事業所が臨海部に進出し、臨海産業地域として発展を遂げ、歴史ある街と最先端技術が生まれる地域が共存してい

る魅力ある区です。

このように多様性がある金沢区に、「住む人、働く人、また訪れる人が安全・安心を実感できる」ように、地域、事業所、各関係団体が、共に連携・協力していくことで、防火・防災ネットワークを拡げて行く必要があります。

当協会では、自らの防火防災能力の向上のみならず、消防署、消防団、そして地域の皆様と協力しながら、地域全体の防災力の向上に寄与していきたいと考えております。

金沢火災予防協会 会長 児玉 聖司

Topics

～トピックス～

区内の事業所が日頃の訓練成果を披露する「平成31年度金沢区自衛消防隊消防操法技術訓練会」が令和元年7月1日(月)に開催され、18事業所97名の自衛消防隊員が迅速・的確な動きを披露しました。

最優秀事業所は、11月19日(火)に開催される「横浜市消防操法技術訓練会」に金沢区代表隊として出場します。

- 屋内消火栓操法の部Ⅰ(女性)
最優秀 東洋電機製造株式会社横浜製作所
- 屋内消火栓操法の部Ⅱ(男性・男女混成)
最優秀 株式会社日本製鋼所横浜製作所
- 小型ポンプ操法の部
最優秀 株式会社オーバル横浜事業所



● 主な研修視察場所

- (株)荏原製作所藤沢事業所
- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 静岡県地震防災センター
- 総務省消防庁消防研究センター



金沢火災予防協会会員数

314事業所

〈グッズ紹介〉



ティッシュ



ばんそうこう



シール



防火ポスター

会長・副会長の

紹介

- 会長 (株)ワン・ツー・ストック
- 副会長 (株)総合車両製作所
- 副会長 日本発条(株)
- 副会長 日本飛行機(株)

あの街 その店 この味 ～ 会員事業所の紹介 ～

※詳細は、HPにて「横浜MDC」で検索
横浜市金沢区幸浦2-26-1

金沢区内には、臨海部に工場地域が広がり、多くの会員がありますが、その中で「協同組合 横浜マーチャンダイジングセンター」(1976年11月に創立)を今回ご紹介いたします。

本組合は、現在73社の組合員と13社の準組合員の計86社で総合流通団地を形成し、各種共同事業を展開しております。その中の各企業がお店を出し「MDCアウトレットセール」を毎月第4土曜日に開催!



直営店だからこそ出来る激安セールを行っており、市内・県内はもちろん、県外からも来客がある人気イベントとなっています。また、組合会館内には中華「味楽」があり、アウトレット限定メニューが提供されています。(毎月アウトレットの日は餃子がお得!) ぜひ、ご家族、ご友人をお誘いの上、行ってみたいいかがでしょうか?



伊藤金沢消防署長
I ♥ 金沢



公益社団法人 横浜市防火防災協会(金沢区)の仲間です

(株)ワン・ツー・ストック / (株)総合車両製作所 / 日本飛行機(株)横浜工場 / (株)オーバル横浜事業所

鈴江コーポレーション(株)新杉田埠頭倉庫営業所 / JNC(株)横浜研究所 / 日本シャフト(株) / (株)日本製鋼所 横浜製作所 / 三上船舶工業(株) 明和食品(株) / 横浜ケミカル倉庫(有) / (協組)横浜マーチャンダイジングセンター / トヨタメトロジック(株) / アイテック(株)グリーンパーク横浜

防災功労者表彰

2019年6月24日に開催された2019年度定時総会の席上、次の方々が防災功労者表彰を受賞されました。



防災功労者の皆さん 石井会長と共に記念撮影

行政区別	受賞者名
鶴見	東芝エネルギーシステムズ株式会社 京浜事業所
神奈川	三菱鉛筆株式会社 横浜事業所
西	横浜新都市センター株式会社
中	株式会社大憲興業 代表取締役 高野 智恵子
南	日本濾水機工業株式会社
港南	ホンダカーズ神奈川中株式会社 代表取締役会長 大平 力藏
保土ケ谷	横浜トヨペット整備株式会社
旭	社会福祉法人藤嶺会 特別養護老人ホーム 弥生苑 理事長 西山 宏二郎
磯子	旭紙業株式会社 横浜工場
金沢	鈴江コーポレーション株式会社 新杉田埠頭倉庫営業所
港北	株式会社メモワールソシア21 代表取締役社長 渡邊 正典
緑	三和倉庫株式会社 横浜事業所
青葉	イツ・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 嶋田 創
都筑	株式会社亀屋万年堂 横浜事業所
戸塚	イオンリテールストア株式会社 イオンスタイル東戸塚
栄	学校法人須藤学園 いいじまひがしこども園
泉	有限会社 佐竹商店
瀬谷	三鈴興業株式会社 代表取締役 小林 浩

(敬称略)

新約消防白書

開放された防火戸

防火戸が閉められず被害が拡大した火災の事例は枚挙に暇がありません。その都度防火区画形成の重要性が叫ばれます。火災鎮圧の柱である防火区画¹は、四方上下が壁で囲まれた空間によって形成されます。しかし、使用勝手どうしても出入口の開口部が必要になり、扉（防火戸）が設置されますが、そこが弱点にもなります。防火戸は閉鎖されて防火区画が形成されます。しかし、開け閉めが面倒なのか防火戸にくさびを打って開け放しにする状況を散見します。

古より日本人は、夏向きを旨とする開放性の高い木造建築に住み慣れていましたが、明治以降西洋文明がもたらされ、壁で作られた閉鎖性の高い西欧建物を受け入

れてきました。陸続きの西欧において、略奪が生活の糧であった時代に、賊の侵入を防ぐため城郭都市を築き石造りの家に住んでいた。城壁内への賊の侵入は、そこに住む人々の死を意味したわけで、扉の開閉にどれだけ重い意味があるか住民は心得ていた。ドイツ語で城をシュロスと言うが、この動詞形シュローセンは、「閉める」を意味します。閉めることが、命を守るキーワードであるということを歴史的経験を経て身に付けています。

ラテン語で壁を (moenia²) というそうですが、壁を共に (com) 守ることが住民の義務であり共通認識で、common の語源にもなっています。我々も、事の重大性を認識し、閉めるという行為を繰り返すことで常識 (common-sense : 共通の感覚) 化することを願っています。

注1：防火区画とは大規模な建築物や特殊建築物において、防火上有効に区画することにより、火災の拡大を防ぎ、被害の軽減を図るもの。防火壁、耐火構造の床、壁などにより一定面積以内ごとにまたは一定用途の部分に対して区画を施すこと。(建築基準法施行令第112条)

注2：moeniaが時とともにmunia(義務)と形を変え、commune, community等の語幹MUNとなります。commonの語幹MONはMUNの変形のようなです。



「フォト収集」#9

「マリーヌルージュ甲板より」

ベイブリッジの下を通過した時、小さな背中からカー杯の「わあ〜っ」という声が聴こえた。大人でもそう感じるのだから無理はない。子供の背中にはいつも直球勝負だ。いつまでもこの直球を優しく受け止められる、そんな大人でありたいとあらためて思った。

撮影地：横浜港

カメラ：Canon PowerShot G5X

撮影データ：F6.3 1/125 ISO500

イニシャル：T.O

妄言多謝 第9回

久しぶりに大学時代の友人と野毛の蕎麦屋で呑んだときに、A先生の訃報を知った。逝ってから十年になるという。当時A先生は留学から帰ったばかりで、大学ゆかりの文芸誌のインタビュアーをしていた。私はその本の編集に携わり、A先生を知った。お嬢さんが生まれたばかりだった。A先生は毎月、小林秀雄、稲垣足穂、渡辺一夫、西脇順一郎、金子光晴、武田泰淳、大岡昇平、梅原猛、吉本隆明等の方々に向き合い、骨太な、かつ斬新な質問をぶつけた。これは後に一冊の本になった。それから二十余年後の2008年10月14日A先生は研究棟のロビーから飛び

降りた。A先生はヴィクトル・ユゴーの研究者でもあったことから、私は「ノミゼブル」のジャヴェール警部を連想した。彼は法の正義を信じられなくなりノートルダム橋の欄干からセーヌに身を投げた。連想は安易だ。そんな簡単に他人に自分の死が理解されてたまるかとA先生の声が聞こえそうである。しかし理解されたいのだ。



本誌43号の9頁の金井署長への質問「無人島に一つ持っていくとしたら」答「旦那」、質問「最近感動したことは」答「孫のハイハイ」。署長と旦那と孫が目に浮かぶ。こういう睦みがあれば御免みとともに生きていける。(し)

横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第8回

文と写真 ● ジャム

生麦といえば、ビール。しかし、生麦駅で降りることが特別な感じをもたらすのはなぜだろう。日本の近代化の歴史に残る事件がここで起きたからだろうか。生麦という地名は徳川に由来する歴史のあるもの。ナマムギの子音を取って母音だけにするとアアウイになりアヤウイに近くなる。その響きは、危うい。もちろん言いがかりに過ぎない。

魚河岸通りは実は見どころが多い。国道駅しかり、老舗の天ぷら屋さんしかり、魚屋さんが赤貝をさばっている様子も見ることができるし、重要な史跡もある。

そんな中の白眉は、朱色ではないだろうか。通りの中ほどに突如という感じで、朱色の鳥居の列が目飛び込んでくる。何といってもそのこぢんまりとしたスケール感がすてきなのだ。その日は車両の通行を止めていたこともあるのだろうが、ゆるやかな日差しの中に静かにそれでいて鎮守のころざしにあふれたそのたたずまいは、なかなかの風格を感じさせるものだ。人々の慎ましやかな生活の筋道が見えるよう。



その神社の名称は道念稲荷神社。

鳥居に魅入られた感じで過ごすことしばし、今日は何をしに来たのか。どうするんだ、オレ。それすら忘れてしまいたい程になるほど愛らしいいい感じであった。

赤貝も有名だが、実は穴子も負けず劣らず有名だ。それを何とか料理しようというのが、今日の大それた目的。良心的な値段に安堵する気持ちと無駄にしてはならないという責任感。何とかしよう。



生麦の地名の由来には諸説あり

- ①: 家康の入国時に道がぬかるんで悪かった為、麦の穂を敷き詰めて道を整備した説。
- ②: この地でよく獲れたミル貝などの生貝を、むき身にして生計を立てていた家が多く、「生むき村」となった説。
- ③: 岸谷にある電泉寺のお墓に書かれている「生麦の碑」と何か関係しているのではないかとする説。(はまれぼ.comより)

わたしのベストショット!!

撮影: 近藤 美樹さん

「どんな時でも消防の皆さんが助けてくださる」そんな安心感が見えたような瞬間でした。



編集後記

消防の道に入った彼は消防学校での半年間の厳しい教育訓練を終え、卒業を控えたある日、学校長との面談で希望の業務について聞かれこう話した。

「広報誌の編集をしたい」と。一般的には現場を知るために消防隊員や救助隊員、救急隊員をやりたいと言う場面だ。彼はそのことを長く後悔した。現場で人命を救うために汗を流す意欲がないと思われなかったかと。

その後、結局40年近い現役時代、災害対応を軸として多岐にわたる仕事を経験したが、とうとう一度も広報部門に就くことはなかった。ただ、消防という同じ目標を持つ仲間たちの中で幾多のつながりに恵まれた。

現在、彼は蓄えたひと財産のお世話になりながら、ある広報誌の編集に励んでいる。「願い」は「時をかけて得た出会い」に支えられてこそ、叶うものなのかもしれない。(アルガ)

防火管理者必携!

2019年版「消防関係法令集」の販売を開始しました。

- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
- 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。
- 監修/横浜市消防局予防部予防課
- サイズ/A5 ● 重さ/約1,200g

2,700円(税込)
(当協会会員 2,500円)



購入方法

- ① 当協会窓口で購入
- ② 宅配を希望
(申込用紙を送付します。送料等の御負担をお願いします。)

問い合わせ先

電話 045-714-0920 (総務課)

【本紙の料金】 毎号、本誌の内容の充実に向け努力してまいりましたが、各区の火災予防協会でご購入いただいている本誌の販売価格は、増税や紙代の値上がりなどのため、やむを得ず今回より110円(+30円)に値上げさせていただくことになりました。当協会の会員の皆様には、今まで通り当方から配布させていただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

創業 50 年

消火器・消防ポンプ他
各種防災機器の販売
火災報知機他・各種防
災設備の設計施工・点検

 株式会社 蒲原商会

横浜市港北区榑町 3-1-13
TEL (045) 542-7266 (代)
FAX (045) 542-7252

◆地下埋設タンク・配管の
気密漏洩検査
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)

◆産業廃棄物の処理・再生
各種タンク・ピットの清掃工事
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取り致します)

《ISO14001認証取得》

 三美興産株式会社

〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9番地2

TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102

URL: <http://www.sanbikosan.com/>



横浜油材株式会社

〒245-0018 横浜市泉区上飯田町1465番地2
代表取締役 伊藤洋和
TEL: 045-803-3508(代) FAX: 045-803-3594

業務内容は下記のとおりです

- 石油部: A重油・灯油・重機燃料・オイル他 (ご注文即日配達主義)
上飯田油槽所: 地下タンク300kℓ・タンクローリー12台
- 洗剤部: クリーニング用洗剤および資材全般・工業薬品全般
ボイラーの販売および設置工事 *キャラバン車 4台
- 工事部: 危険物工事設計施工および解体工事一式・消防申請業務一切
(オイルタンク・地下タンク・貯蔵庫他)
(小規模危険物工事(新設・改造・解体)は自信あります
是非当社にご相談下さい。安く出来ます)
- 中古油機部: 中古タンクローリー売買(ご一報・即刻参上)
中古油機(計量機)売買・古物商免許(泉第5-22)

消防用設備一式 設計・施工・販売・修理・点検

消火器	漏電警報器
自動火災報知設備	屋内消火栓設備
避難器具	スプリンクラー設備
非常警報設備	誘導灯

株式会社 
東横防災商事

〒226-0016
横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206

☎(045)921-1244

FAX(045)923-0677

www.azma.co.jp

日頃のご愛顧に感謝いたします。
これを機に社員一同、より一層の努力をしていく所存でございます。
今後とも、なにとぞご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

おかげさまで70年

70th
2019
Anniversary

吾妻印刷株式会社

〒232-0006 横浜市南区南太田 4-8-12
★お電話でのお問合せは…平日9:00~19:00★

■本社・工場

Tel.045-730-5161(代) Fax.045-730-5171

■ディスプレイ事業部 プレセンス

Tel.045-341-4475 Fax.045-341-4476

横浜 吾妻印刷 

QRコードをスマートフォンまたは
タブレットで読み込みますと、
当社サイトをご覧いただけます
(通信料はお客様負担です)



横浜市防火防災協会会員の皆様へ

創業57年の信頼と実績! スピード見積り!

点検 工事

修理・修繕

消防設備の事なら

当社にお任せください!!



YOKOHAMA

「横浜型地域貢献企業」
最上位認定を受賞しております。



消火器の
寿命は **10年**

古い消火器回収します!

0120-963-890 横浜消火器株式会社

〒235-0002 横浜市磯子区馬場町 1-48 <http://www.hinoyojin.com/>

神奈川県民のための

火災共済

組合員のみねさまが火災等に遭ったとき、互いに助け合う制度です

例えば、700万円の保障での年間掛金

マンション等
(耐火構造)
専用住宅の場合

2,800円

木造・準耐火等
(非耐火構造)
専用住宅の場合

5,600円

*新規にご加入の際、組合員になっていただくため、100円の出資金が必要です。

広告内容は概要のため、詳細は下記までお問い合わせください。

たいせつな建物と家財...



火災



水漏れ



落雷など

もしものリスクに備える保障!

築年数に関係なく、
同じ加入基準額で
加入できます!

*イラストはイメージです。

横浜市孤立予防対策協力事業者

横浜市民共済生活協同組合 0120-073-203

横浜市民共済

検索

横浜市中区日本大通58 日本大通ビル 8階 [受付時間] 月~金/8時30分~17時15分(祝日・年末年始を除く)



消防界の今日を創り、明日を拓く

シリーズ 防火

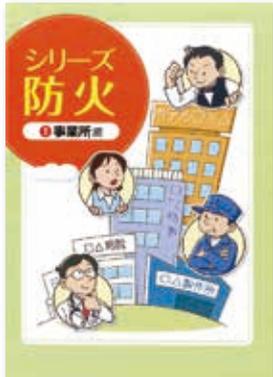
A5判
2色刷

詳細は
こちら!



① 事業所編 32頁

定価(本体140円+税)



従業員など、一人ひとりが「自分の職場から絶対に火事を出さない」という姿勢で日頃から取り組むことを啓発する一冊。

② 消防計画編 16頁

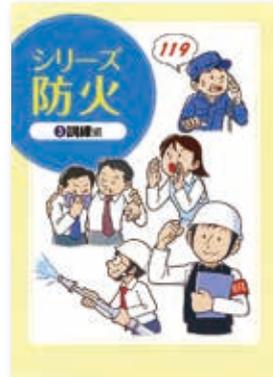
定価(本体96円+税)



防火管理等の基本となる「消防計画」の重要性とそれに基づく関係者の役割と活動について解説。

③ 訓練編 16頁

定価(本体96円+税)



「自分のところは自分で守る」ため、そして「いざというときのため」に消防訓練は不可欠。効果的な訓練のためのポイントを簡潔に解説。

消防団を全面サポート

場所を選ばず、どこでも消防団の活動が確認できるお助けブック!!

詳細は
こちら!



2訂版

消防団 サポートブック

- 消防団員実務研究会 編集
- ポケットサイズ(外寸:130mm×80mm)
- ダブルリング製本
- 40頁/オールカラー
- 定価(本体800円+税)

★火災活動のモデルやけが、骨折、熱中症対策を含む応急手当、消防団にとって最も重要な安全管理も網羅しています!
★手のひらサイズで防水加工をしてあるので、現場でも活用できます!



主な掲載内容

- ◆日頃の備え
 - ◆火災活動のモデル
 - ・連絡・準備
 - ・消火活動
 - ・消防隊に協力
- ◆応急手当
 - ・心肺蘇生法とAED
 - ・止血方法
 - ・骨折の処置
 - ・熱中症対策
- ◆資料
 - ・安全管理の優先順位
 - ・防災訓練時のポイント
 - ・土のうの作り方

東京法令出版 株式会社

インターネットでお申込み
お申込みはこちらから
☞ <https://www.tokyo-horei.co.jp/>
(※最新情報等もホームページをご覧ください。)

お電話でお申込み
0120-338-272
(※携帯電話からもお申込みできます。)

FAXでお申込み
0120-338-923

公益社団法人 横浜市防火防災協会

URL <http://www.ydp.or.jp/>

〒232-0064 横浜市内南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

FAX 045(714)0921



☐ 総務課 TEL 045(714)0920
☐ 防災コンサルティング課 TEL 045(714)0929

☐ 講習課 TEL 045(714)9909
☐ 救命講習受付 TEL 045(714)9911